

平成 21 年 5 月 13 日

報道関係各位

日本ミルクコミュニティ株式会社

平成 21 年 3 月期業績について（速報）

1. 業績

平成 20 年度は、世界経済の影響による飼料価格高騰によって酪農経営が深刻化していることから、飲用向け乳価は平成 20 年 4 月より 3 円/kg、21 年 3 月より 10 円/kg と同年度内に二度にわたり値上げされました。また、直近では一部に下落傾向は見られるものの、資材・原材料価格や燃料費、物流費等の高騰などの直撃を受けたほか、下期は、日本経済の急速な悪化に伴う個人消費の冷え込みの影響も受けました。

こうした厳しい経営環境のなか、中期三ヵ年経営計画（MRP）の最終年度として、①原料・資材、燃料費の高騰に対応し、価格改定等の吸収策を講じる。②ローコストオペレーションの徹底・継続。③メグミルク牛乳、野菜系飲料、はっ酵乳、デザートなど重点カテゴリーのシェア拡大に取り組んできました。

これらの結果、平成 20 年度売上高は前年を上回りましたが、利益は前年を下回りました。

(1) 売上高（個別）

単位：百万円、%

	当期実績	前期実績	前期比
白物飲料	82,996	82,660	100.4
色物飲料他	136,873	136,829	100.0
合計	219,869	219,489	100.2

*記載金額は百万円未満を切り捨てて表示している。

(2) 利益（個別）

単位：百万円、%

	当期実績	前期実績	前期比
営業利益	1,310	2,334	56.1
経常利益	1,443	2,561	56.3
当期純利益	1,895	2,012	94.2

*記載金額は百万円未満を切り捨てて表示している。

2. 概況

(1) 売上高について（個別）

- ・売上高は、「白物飲料」、「色物飲料他」とともに前年をわずかに上回りました。
- ・「白物飲料」では、牛乳合計で約590億円(前年比101%)、そのうち「メグミルク牛乳」は約210億円(前年比101%)と、金額では前年を上回りましたが物量では前年を下回りました。
また、「白物飲料」のなかの白物乳飲料は前年を下回りましたが、宅配専用商品「グルコサミンパワー」が二桁伸長したほか、「毎日骨太 3つのチカラ」もラインナップ強化や消費者キャンペーン等が奏功し、堅調に推移しました。
- ・「色物飲料他」では、「ナチュラル恵」や「生きて届けるビフィズス菌ヨーグルト」「牧場の朝」シリーズなどの二桁伸長により、はっ酵乳は約300億円(前年比107%)と好調に推移しましたが、色物乳飲料や野菜系飲料、天然果汁などは市場全体と同様に前年割れとなりました。

(2) 利益について（個別）

- ・20年4月および21年3月と、同一年度内二度の乳価値上げに伴い、商品価格の改定を実施しました。
- ・商品価格改定その他、コスト低減に努めましたが、資材・原材料価格や燃料費、物流費等の高騰を吸収しきれず前年に対し、営業利益で10億円の減益となりました。

3. 参考（20年度連結業績）

単位：百万円、%

	連結		個別	
	金額	前期比	金額	前期比
売上高	247,464	100.2	219,869	100.2
営業利益	1,965	65.6	1,310	56.1
経常利益	2,155	68.0	1,443	56.3
当期純利益	2,249	93.8	1,895	94.2

*記載金額は百万円未満を切り捨てて表示している。

4. 次期業績予想

(1) 連結

単位：百万円、%

	平成22年3月期			
	第2四半期累計期間		通期	
	予想	前期比	予想	前期比
売上高	129,086	-	248,055	100.2
営業利益	2,097	-	3,088	157.2
経常利益	2,138	-	3,049	141.5
当期純利益	1,413	-	1,334	59.3

*記載金額は百万円未満を切り捨てて表示している。

*前期は第2四半期での連結業績を集計していない。

(2) 個別

単位：百万円、%

	平成22年3月期			
	第2四半期累計期間		通期	
	予想	前期比	予想	前期比
売上高	114,740	99.5	219,947	100.0
営業利益	1,589	115.5	2,389	182.4
経常利益	1,572	109.2	2,308	159.9
当期純利益	1,063	70.0	842	44.4

*記載金額は百万円未満を切り捨てて表示している。

以上

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先

日本ミルクコミュニティ株式会社

コミュニケーション部 広報チーム

TEL 03-3359-5126 FAX 03-3359-5127